

2021年11月22日(月)

読書授業の様子

3年生から6年生は、読書の授業を週に1度図書室で行っています。
“読書の秋”を迎えた頃から、いろいろな本に出合うきっかけとなるように本の紹介をしています。そうすることで図書室のどこにどのような本があるかを知ったり、いつもは手に取らない種類の本を読んだりする児童が増えました。また、お友達同士でお薦めの本を紹介し合う活動もしています。

この本、探そう！

- ① 入り口の床のマス目を3枚前に歩いたら右に6枚歩く。
- ② 右手の本だなの上から4段目
- ③ ミステリー、推理の本
- ④ 暗号を次々に解いていくお話
- ⑤ 本のラベルは 93のワの11

4年生では、「お薦めの本をお友達に見つけてもらおう」という授業を行いました。まず、紹介したい本を決めて読み、「この本、探そう！」というカードに、作者名やどんなお話か、本の所在などのヒントを4～5個書きます。本の題名は、本を見つけるまで見えないようにカードの裏に書きます。

次の授業の時、お友達が書いたカードに書かれている場所や分類記号（請求記号ラベル）などのヒントをたよりに本を探しました。



「この本、読んだことある。」
「この棚の本、見たことなかった。」
「この本、読んでみたい」
「次は見つけない。」
といった声が聞こえてきました。

本探しの後に各自で読書をする時間をとると、探しあてた本を読んでいる児童が何人もいました。その児童も、その本を紹介した児童も、読書の楽しさと同時に同じ本に共感し合えた嬉しさを感じてくれたのではないかと思います。